

No.	該当政策・該当頁 (策定時冊子)	意見・質疑等の要旨	対応状況
1	第3章 市民意識の状況 47頁	47頁のグラフは円の大きさが一律だが、実際の予算規模に合わせた膨らみがあれば分かりやすい。また、各施策とSDGsとの紐づけすることで国庫補助などをどれくらい獲得できるか、ということでそれぞれの施策におけるスピード感や見直しの考え方が変わってくると思う。限られた財源をいかに有効活用するかという市民目線に立つことも大事だが、助成金や補助金等を得やすい施策を優先的に取り組むことも、効率的な方法ではないか。	実際の予算規模に合わせたグラフを作成し検証する予定です。また、助成金や補助金等を得やすい施策への優先的な取組も重要な視点ですので、参考とさせていただきます。
2	第3章 市民意識の状況 44～47頁	市民が感じている満足度・重要度について、市民を一括りにしているが、年齢別等の分析はデータの的に可能か。市民を一括りにすると若者から高齢者まで含んでしまうため、年齢別に見ることも必要と思う。	市民意識調査は、お住まいの地域や年齢等をすべてお尋ねしていますので、クロス集計によって地域別の課題等を分析することは可能です。個別の施策を検討する際には、年齢別の視点からも検証できるよう意識調査を活用しています。
3	政策5【産業・雇用】 施策② 工業の振興 112～113頁	工業の振興として、事業所や働ける場所の確保が掲げられており、これから工業団地を作って企業誘致をしていくことなので、この取組によって事業所がどのくらい増えたかといったことや、税収の変化について客観的な検証をする必要がある。	税収の変化等の客観的な検証は重要なため、事業進捗にあたっての参考とさせていただきます。
4	政策5【産業・雇用】 施策③ 商業の振興 114～115頁	将来目標を「魅力ある商売が盛んで、みんなが出かけ、にぎわいにあふれているまち」としていますが、これはひとつひとつの事業だけでなく、地域の商店街として魅力的である必要があるため、将来目標に掲げられている「魅力」については、改めて検討してほしい。	地域の商店街の魅力について、今後も個別の事業を通じて検討を進めます。
5	計画全般 および 第2章 まちの構造	商店街の立場からは、イオンモールの必要性を感じない。外部からナショナルチェーンとして入ってくる店舗は、従業員の雇用は発生するものの、利益は本部に行くため、地域での循環が発生しない。ここで生まれ育ち、ここで商売をして、お客様と接して日々の生活が回るようなことをし続けてきましたが、このようなことが地域に疲弊を生まない一番良い方法である。もし出店するのであれば、地域に与える影響等を示し、正しい対策をご検討いただきたい。	地域に与える影響等や対策につきましては、関係者との協議を実施する中で検証、検討してまいります。
6	計画全般 および 第2章 まちの構造	豊川市は中心市街地のエリアが豊川駅から姫街道、そして諏訪までと広く設けられている。このようなエリア設定は分散化を招き効率的でないため、エリアの見直しを検討いただきたい。まちの未来像として「光・緑・人 輝くとよかわ」と謳っており、美しい街並みや景観は重要な施策であるが、あまり取り上げられていない。電柱の地中化などの景観に配慮したまちづくりなどを総合計画に取り入れてほしい。	豊川地区、中央通地区、諏訪地区は様々な都市機能が既に存在し、今後もそれを生かしたまちづくりが重要と認識しております。また、美しい街並みや景観に関する施策については、基本計画への記載を検討します。
7	計画全般	豊川市は高速道路へのアクセスや、名古屋へのアクセスにおいて鉄道等があり、そのようなことが人口増の構造的な要因と考えられ、これらメリットは活かし続ける必要がある。また、地域ごとに非常によい物があるにもかかわらず分散傾向であるため、それらをうまくまとめていくことが重要。総合計画については、革新的にスマートに取り組んでいく必要がある。例えば、今般のコロナ禍において、ITの普及が遅れていることがわかれば、自宅にいても行政サービスをすべて受けられるということになれば、非常に便利。ただ、実際にはそのようにできず、二の足を踏んでいる印象があり、そういったプレイクスルーをどこまで真剣に考えるかといった検証があってもよい。	地域の持つメリットについては、今後も活かしていけるように配慮します。また、行政のIT化は重要であるため、基本計画の中で、できるだけ施策ごとに位置づけていきたいと考えております。
8	計画全般	今般のコロナ禍で町内会がなくても何とかやっていける時代が来ている。最近では、町内会の役員を請け負ってくれる人がいなくなっている現状があり、高齢者が安心して暮らせるといった施策があったとしても、それはコミュニティで高齢者を見るように、ということを厚生労働省が示している。このように、地域づくりを図りながら高齢者福祉を充実するという政策がとられていることから、政策ごとに分かれているのは良いが、縦割りでない融通性の利いた計画になれば良い。	ご意見のとおり、政策・施策間の連携は重要であるため、地域づくりや福祉の分野において、なるべく政策・施策間での連携が図られる計画となるよう配慮します。
9	第2章 まちの構造 41頁	「まちの構造図」が示されているが、以前からあまり変わっていない。図には国道151号バイパスが描かれており、その上に豊川新城線が通っているが、これらの周辺は依然として田園ゾーンとなっている。これは以前から変わっておらず、実情とはかけ離れているように思う。土地利用についてもっと考えていただきたい。	実情と異なる部分はあるかと思いますが、総合計画のまちの構造図は、主要な要素に絞り込んで表現し、まちづくりの大きな方向性を示すことに主眼をおいています。

No.	該当政策・該当頁 (策定時冊子)	意見・質疑等の要旨	対応状況
10	政策6【地域・行政】 施策① コミュニティ活動・ 市民活動の推進 124～125頁	地域の祭礼や総会についても縮小・廃止されている。また、敬老会なども、中止もしくは従来とは異なる方式にすることが示された。これは新型コロナウイルス感染症対策との兼ね合いも含まれているが、今回の計画策定において地域コミュニティをどう考えているかを示す必要がある。町内加入率は70%を越えているが、低迷している状況。今までも腐心して取り組んできたが、ここに来て変わってきた。それらを今回の改訂案でしっかりと位置づける必要がある。	ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で、町内会活動のあり方が問われていると認識しています。今後の取組について、今回の改訂で位置づけを検討してまいります。
11	政策5【産業・雇用】 全般	商工会は20年以下の小規模企業をサポートする団体であり、農業・工業・商業すべてにわたっている。その中で、農業は事業が承継されなくなってきており、使われない農地が増えている。また、閉店する商店が増えており、この10年で戦後から創業した事業が交代する一方、後継者不足によって製造業の事業所も激減することが統計上でも予想されている。よって、事業承継に関する施策を計画に記載していただきたい。 また、昔ながらの第1次、第2次産業のほか、情報産業等を育成していただきたい。	現状を踏まえると、ご意見のとおり、事業承継は重要であるため、基本計画の中での位置づけを検討してまいります。
12	計画全般	都市計画、まちづくり分野にて、歴史まちづくりの取り組みを始めてはどうか。 合併した豊川の強み、旧町の歴史を引き継いでという点。 現状では、行政・財政合理化の中で、旧町のポテンシャル、プレゼンスは低くなる一方。 旧町のプレゼンスを上げるのは、例えば、歴史まちづくり法を使った観光面、社会教育面、景観施設面の強化である。	ご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。
13	計画全般	総合計画の改訂について 選挙で選ばれた市長マニフェストの施策が上位計画という民意に合わせて、市長選後の改訂策定というスケジュールにするべきではないか。 コロナ禍で先行不透明な時代に長期計画を改訂することに不安と不適正を感じる。この時期は避けて、次年度以降の見直しがよいのではないか。 以上のことから、対象範囲を、「安心と安全」「行政運営」のみにスポットを当てた改訂としてはどうか。	市長マニフェストの施策が重要であることは、ご指摘のとおりです。今回の改訂では、マニフェスト工程計画を可能な限り基本計画に取り込んでまいります。 コロナ禍をはじめ、先行が不透明であることはご意見のとおりですので、基本計画の中で方向性などを設定したうえで、実施計画で柔軟に対応してまいります。
14	計画全般	コロナ禍は終わっておらず、今後の目処もたっていない状況であるので、新たな生活様式に合わせた施策を基本方針に乗せるべきではない。別枠で特別施策として、短期の中で変更できるようにしていくべきではないか。	基本計画の重点取組事項の一つとして、新たな日常への対応を盛り込んでまいりたいと考えております。なお、施策ベースでは、実施計画などにより柔軟に対応してまいります。
15	第3章 市民意識の状況	市民意識調査にとらわれすぎているように感じる。市民意識を踏まえつつ、将来の目標達成に向けて着実に業務を遂行することが行政の責務であると思う。	ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
16	政策5【産業・雇用】 施策②および③ 工業の振興および商業の振興 112～115頁	政策5②工業の振興と③商業の振興は、目標の指標を事業所の数としているが、数だけでなく事業所が増えたことによる雇用の変化、税収の増加、工業団地への誘致によるインセンティブとその収支比較など評価するための指標を多岐にわたり検討してはどうか。	雇用の変化や税収の増加等の多角的な検証は重要なため、事業進捗にあたっての参考とさせていただきます。
17	政策5【産業・雇用】 施策④中心市街地の活性化 116～117頁	政策5④中心市街地の活性化は、豊川市のこれまでの合併等の経緯を踏まえれば、市街地が分散するのは止むを得ない面がある。利便性の高いところに賑わいが生まれるのは経済の流れでもあるので、中心市街地として指定した地域で賑わいを作り出すことに固執する必要はない。むしろ、地域に分散した行政機関を再配置し、利便性を高めることから始めてはどうか。	ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
18	第4章 まちづくりの基本方針と各施策の関連性 48頁	まちづくりの基本方針について 定住・交流施策を実行するためには、政策2③子育て支援の推進、政策5⑤観光の振興が大切になってくる。ただ、満足度は高いとは言えないが今後どのように行動していくのか。	子育て支援の推進については、マニフェスト工程計画にある「日本一子育てしやすいまち」を踏まえ、子育て支援や保育サービスなどの充実を図ってまいります。 観光の振興については、観光おもてなし施策の充実を図りながら、満足度を高められるように取り組んでまいります。
19	第3章 市民意識の状況 44頁	満足度と重要度の一覧について 市民意識調査は5000人に配布して約50%の回答ですが、これで正確な調査ができているのか。例えば、広報誌にQRコードなどを載せたり、豊川市のSNSを活用して、もっと幅広く調査してはどうか。	市民意識調査の有効回答数については、統計学上、概ね信頼できる結果が得られる回答数となっております。あわせて、より多様な調査を行うため、電子行政モニターへのアンケート調査を実施しています。

No.	該当政策・該当頁 (策定時冊子)	意見・質疑等の要旨	対応状況
20	第3章 市民意識の状況 47頁	満足度と重要度の点数化と分析について 45頁の回答結果を見ると、48の質問事項に対して満足度50%以上が13となっている。ただ、平均値でグラフを表しているため、約半数の項目において満足度が高いグラフになっている。意識調査と今後の課題を明確にするため、平均値ではなくパーセント表示した方が良いのではないかと感じる。	満足度と重要度の点数化と分析のグラフについては、各施策の相対的な状況を捉えるため、平均値でグラフを表しております。パーセント表示とあわせて検証することで、より適切な分析が可能になるものと認識しています。
21	政策1【安全・安心】 施策③防災対策の推進 60～61頁	市民の防災への満足度が低い点は、実質的に市民にわかる事業が実施されていないのではないかと感じる。理解されやすい防災の施策を打ち出す必要がある。	防災分野の施策での理解の得られやすさは重要であるため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
22	政策4【教育・文化】 施策②青少年健全育成の推進 100～101頁	青少年の育成については、交流のできる機会づくりが必要ではないかと考えている。	青少年の育成について、交流のできる機会づくりを考慮し、施策を進めてまいります。
23	政策5【産業・雇用】 施策⑤観光の振興 118～119頁	観光の振興については、新たなプログラムの創出と関係人口を増やす方が必要。	観光の振興について、新たなプログラムの創出と関係人口を増やす方を考慮し、施策を進めてまいります。
24	政策6【地域・行政】 施策① コミュニティ活動・ 市民活動の推進 124～125頁	住民・企業との協働を目指している豊川市において、コミュニティ活動の活性化、また地域づくりの必要性を感じている。	ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
25	計画全般	全体をととして中学生の意見まとめた資料を市長に出させて頂いた。 学生の活用をしながら、次世代を担う住民の人材育成のできる政策が欲しいと感じる。	ご意見いただいた資料を確認させていただきました。中学生ならではの意見もありますので、関係部局等と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
26	計画全般	・ICTは様々な分野への波及効果が大きいと、DX推進、情報通信産業の育成 ・151号線一宮バイパス沿線の利用計画(ビジョン) ・健康づくりや治水を考慮した佐奈川(帯川)、音羽川など市内河川の環境整備 ・JR御津駅と周辺のリニューアル	ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
27	第2章 まちの構造	現行計画は、時代の流れや基本構想は正しい前提に基づいたものとなっているが、まちの構造図はどうか。ノールール状態の商業集積やロードサイド店はどこに入るのか。	総合計画のまちの構造図は、主要な要素に絞り込んで表現し、まちづくりの大きな方向性を示すことに主眼をおいています。
28	政策1【安全・安心】 施策①交通安全対策の強化 56～57頁	安心安全は警察から「制服の警官が街頭に立つ」と防犯・交通安全に効果絶大。隠れた取り締まりは逆効果。	ご意見は、今後の「交通安全対策の強化」の取組の参考とさせていただきます。
29	政策1【安全・安心】 施策③防災対策の推進 60～61頁	防災は減災対策から台風・豪雨対策に家屋の診断と補助事業を充実する。	ご意見は、今後の「防災対策の推進」の取組の参考とさせていただきます。

No.	該当政策・該当頁 (策定時冊子)	意見・質疑等の要旨	対応状況
30	政策1【安全・安心】 施策④消防・救急体制の充実 62～63頁	市民病院周りに余計なものを作らない。(イオンモールなど交通渋滞を起こす施設の建設)	市民病院へのアクセスについては、十分に配慮してまいります。
31	政策1【安全・安心】 施策⑦生活排水対策の推進 68～69頁	無駄な上下水道整備はしない。コンパクトシティ化と旧設備の更新計画が重要。	ご意見は、今後の「生活排水対策の推進」の取組の参考とさせていただきます。
32	政策3【建設・整備】 施策②コンパクトシティの推進 90～91頁	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティの推進は、正しい前提から間違った計画が進められている。</li> <li>鉄道駅をターミナル化して人口とインフラを集約する。</li> <li>持続可能で設備更新にも省力安価であること。</li> <li>10年持つかどうかわからない余計なものを作らない(コンパクトシティ化に反するイオンモールなどの建設)</li> <li>電柱の地中化＝景観整備＋防災・減災＋交通安全に必須</li> </ul>	ご意見は、今後の「コンパクトシティの推進」の取組の参考とさせていただきます。
33	政策3【建設・整備】 施策③道路交通網の充実 92～93頁	<ul style="list-style-type: none"> <li>23号バイパス開通</li> <li>151号バイパス延伸</li> <li>姫街道宮地坂トンネル化</li> <li>環状道路完成</li> <li>ロードサイド店、電柱、看板ブラインドになるものの規制</li> </ul>	ご意見にある道路交通網の整備については、今後も引き続き、関係機関との連携による整備を進めてまいります。
34	政策3【建設・整備】 施策④緑や憩いの空間の充実 94～95頁	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水辺環境でナノバブル水発生設備設置による水質改善</li> <li>夏季の熱中症対策、冬季のインフルエンザ対策にマイクロミスト設備</li> <li>輻射熱対策道路、歩道整備</li> </ul>	ご意見は、今後の「緑や憩いの空間の充実」の取組の参考とさせていただきます。
35	政策4【教育・文化】 施策④スポーツの振興 104～105頁	スポーツ少年団規約改正で費用増加・資格取得のハードルも上がり運営上問題に。	ご意見は、今後の「スポーツの振興」の取組の参考とさせていただきます。
36	政策5【産業・雇用】 全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業・雇用循環型社会構築のエンジン(有機的に産業が補完)</li> <li>天候に左右されない植物工場、周年利用可能な観光農場(管理ノウハウ・省力化自動化で地域工業とコラボ、安定価格流通契約・観光資源で流通サービス業とコラボ、企業・雇用創出)</li> <li>市内商業・サービス施設・交通金融と連携強化キャッシュレス化電子マネー決済の共有。行政と連携して地域商品券の電子化・データ利用促進</li> <li>稲荷周辺のハード事業促進「楽市・楽座」「お稲荷横丁」など</li> <li>151バイパスか23号バイパス、国1沿いの好適地にJAひまわりとコラボして「道の駅豊川」</li> <li>既存施設の活用→平和公園</li> <li>防災減災計画と連動して企業・商店街と防災訓練、備蓄</li> </ul>	幅広いご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見は、今後の「産業・雇用」政策の取組の参考とさせていただきます。
37	第6章 計画の進行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて計画の見直し</li> <li>「行政の暴走(イオンモール計画)」をいさめる</li> <li>正しい前提から正しい結論を導く</li> </ul>	ご意見のとおり、計画については、必要に応じて見直してまいります。
38	政策2【健康・福祉】 施策③子育て支援の推進 78～79頁	子育て支援施策が一定の成果を挙げており、市民が感じている満足度が高いことが分かった。今後も、子育て支援の推進として保護者の方が安心して子育てができるよう、各子育て支援に関する機関が連携し、切れ目のない子育てを受けることができる環境を整えていくことが大切である。	切れ目のない子育てを受けることができる環境は重要であるため、今後も各子育て支援に関連する機関の連携が図られるように努めてまいります。